

# たがじょう

## 市議会だより

復旧・復興に向けて  
補正予算可決!!

クローズアップ

一般質問

追跡レポート



はっとりももごちゃん・ねねちゃん



あおやまよしきちゃん・ゆうきちゃん

心から震災の  
お見舞いを  
申し上げます。

震災合併号

No.75・76

平成23年(2011年)  
8月1日発行

# 向けて補正予算可決!



## ●市民生活を支える23年度予算はこのようになります

・単位 千円

会計別	当初予算	補正額	現計
一般会計	19,920,000	11,227,996	31,147,996
特別会計	12,816,000	783,758	13,599,758
国民健康保険	5,852,000	—	5,852,000
後期高齢者医療	446,000	—	446,000
介護保険	3,313,000	—	3,313,000
下水道事業	3,205,000	783,758	3,988,758
水道事業会計	2,358,957	75,458	2,434,415
合計	35,094,957	12,087,212	47,182,169

第二回市議会定例会を六月二十一日から二十八日まで開催しました。今議会では、議員全員がまちの復興と市民生活の再建をテーマに、震災関連予算や関連条例等を審議しました。

また、まちの復興へ本格的に取り組むため、東日本大震災調査特別委員会を設置しました。今後は委員会において継続的にまちの再建に向けたビジョンを検討していくこととなります。

市議会は、市民の皆さんとともにまちの復興を目指します。

# さあ、復興だ！再生に

**災害復旧費** 災害廃棄物の回収費用、被災家屋の解体費用、災害に遭った農地と農業施設の調査経費などを計上しました。  
また、破損した道路の補修費、街路樹の管理費、津波による災害廃棄物の処理経費などを計上しました。

**総務費** 地域の避難所ともなる地区集会所の整備や防犯街路灯設置の費用を増額しました。

**民生費** 被災住宅の応急修理経費や災害弔慰金、避難所での食事提供に要した経費などを計上しました。

**衛生費** 災害で喪失したごみ回収箱等の購入経費を計上しました。

**労働費** 震災で失業した方を救済するため、非常勤職員として雇用する人件費を計上しました。

**消防費** 防災情報を迅速に伝えるため、防災広報装置の整備経費などを計上しました。

**教育費** 文化センターが避難所になったことにより、同館の運営が困難となった指定管理者への委託経費などを増額しました。

**諸支出金**（災害援護資金貸付金）  
被災した方々への生活貸付金を増額しました。

平成23年度一般会計予算（補正後） 311億4,799万円

当初予算比：112億2,799万円増（+56.3%）

歳出（補正後） 単位：千円



歳出（補正前） 単位：千円





# クローズアップ

## 復旧・復興に向けて、

## 東日本大震災対策委員会を設置！

私たち議員は、震災直後地域の中に入り、調査活動を行いました。その結果を基に、議会としての対策に乗り出すため、毎週一回定期的に対策委員会を開催し、現状を分析し、必要な支援の方策を具体的項目にまとめ、市当局、県、国への提言・要望活動を行いました。その中で実現したこと等を紹介します。

### ●議会からの提言で実現したこと

**提言内容** 震災を契機に解雇された市民が多い。市で臨時職員として雇用し、生活の安定を確保すべき。

**市の対応** 市民を臨時職員に採用します。

**提言内容** 二次災害防止のため、早急に危険なブロック塀の撤去に対応してほしい。

**市の対応** 対応します。

**提言内容** 災害救助法の資金を活用し、避難所へ栄養失調にならないような食事の提供を。

**市の対応** 栄養管理も考慮し、一日2食の弁当を提供します。

**提言内容** 防災広報装置は、緊急時にきちんと機能するように改善を。

**市の対応** 無線の広報装置に改善を行います。

普通の生活のありがたさがしみじみと感じられ、教訓となった震災での出来事…。市民の皆様の心と生活が、一歩そしてまた一歩と歩み出せるまで、共に頑張りましょう！



被災した畑の中で、力強く咲く  
コスモスの花

## 国への要望書

- 家屋の被災が半壊にいたらない場合でも、応急修理制度の適用を。
- 店舗等にも救済措置を講ずること。
- 財政的支援において、災害弔慰金・災害障害見舞金等に要する費用及び応急仮設住宅の現状復旧に要する費用を全額国庫負担とし、ガレキ処理に要する費用も全額国庫負担の対象とするよう、拡充を図ること。

## 県への要望書

- 砂押川堤防の改修・補強、貞山堀沿い宅地のり面の崩落防止など、県管理地の改修・補強工事を急ぐとともに、ガレキ等災害ゴミ対策について、処分場所及び行程を明確に示すこと。



# ひとつに

つながろう！多賀城～

# クローズアップ

## 東日本大震災調査特別委員会での調査項目

- 被災者の生活再建及び被災者支援の充実について
- 地域産業の復旧、復興施策について
- 生活環境対策について
- 災害に強いまちづくり、復興計画について
- 防災計画、体制の見直しについて
- 財政対策、財源の見通しについて

多賀城市民のために、支えあい笑顔あふれる未来をめざして、市議会全体がひとつになってまいります。

## 主な動き

- 4月19日 多賀城市震災復興基本方針の策定
- 4月19日 多賀城市震災復興推進本部の設置
- 5月23日 第1回多賀城市震災復興推進本部会議
- 6月 1日 多賀城市震災復興推進局設置
- 6月 6日 第2回多賀城市震災復興推進本部会議
- 6月 7日 多賀城市復興検討委員会設置
- 6月13日 第3回多賀城市震災復興推進本部会議
- 6月14日 第1回多賀城市復興検討委員会
- 6月20日 第4回多賀城市震災復興推進本部会議
- 6月21日 東日本大震災調査特別委員会設置
- 6月21日 東日本大震災調査特別委員会第1回会議
- 7月 8日 東日本大震災調査特別委員会第2回会議
- 7月15日 東日本大震災調査特別委員会第3回会議

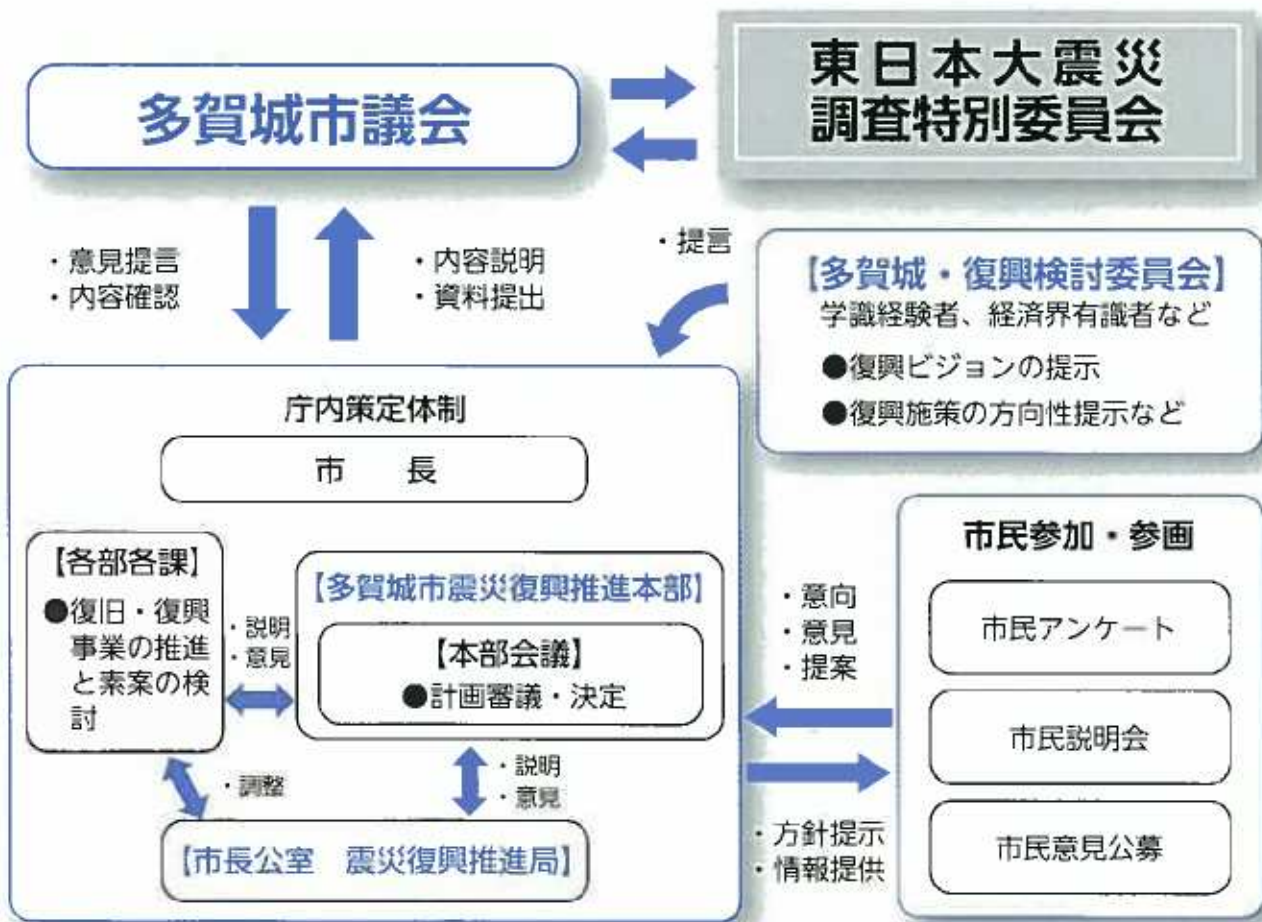


市内の中学生も避難所ボランティアとして活躍  
(早川依吹さん)

# 復旧から復興へと、多賀城は

～支え合い、笑顔あふれる未来を目指して

## 多賀城市震災復興計画策定の推進体制



避難所・山王地区公民館の子どもたち

- 震災復興推進本部：市の復興計画に関する審議決定と復興事業の推進調整を行う。
- 震災復興推進局：復興事業の推進に当たり、市内関係課、関係機関との調整を行い復興計画の策定、取りまとめを行う。
- 復興検討委員会：復興ビジョンを検討するための有識者会議。概ね15人で構成。

# の主な内容

## 会一般質問

平成23年3月9日、10日の両日、市政全般について問う一般質問を行いました。各議員の質問事項は次のとおりです。

議員名・会派	質問事項
相澤 耀司 公明党	●中心市街地構想について／駅中心部には、対照的なまち並みが存在する。一つは近代的なマンションを中心とするまち、もう一つは八幡の旧市街地である。市の理想的なあり方として、新旧取り交えたまちづくりを目指すべきではないか。また、豊かなまちづくりに川よさを加えては。
藤原 益米 日本共産党	●片山大臣の発言／大臣は、指定管理者制度は図書館になじまないと言。この発言をどう受け止めるか。 ●水道事業／水道の22年度黒字額は約2億4千万円に。もっと値下げできたのでは。●水道の管理者を廃止すべき。／●太陽の家の運営／年間1億の費用を全額市が負担。国の助成が得られるよう運営形態の再検討を。
小嶋 廣司 自由民主クラブ	●TPPについて TPPの締結は農業に壊滅的な打撃を与える。昨年12月議会の市長答弁に、変更はないか。また、医療、郵政、金融、労働分野への影響をどのようにとらえているか。
伏谷 修一 多賀城自民クラブ	●持続可能な自治体経営の新たな指針とプランニング 施政方針から、工業団地化構想の意気込みが感じられない。大丈夫か。／10年後の後継者問題等を考慮した農地政策であれば、新たな指針（オーダーメイド方式）を受け身でなく新たな手法として地権者に示すべきではないか。 持続可能な自治体を目指し、工業団地化以外の活用方法をプランニングすることも必要では。
中村 善吉 新政クラブ21	●男女共同参画推進計画と家族制度について／基本目標1、「人づくり」の「性別による偏見や固定的な考えの存在に気づく」とはどういうことか。性別による差別ではなく区別ではないか。ジェンダー形成の功罪をどう評価するか。／基本目標2、「環境づくり」の種々の暴力を起こさせる要因は何か。暴力の根絶をどう行うか。計画の中で子どものしつけ等はどう行うか。／「我が国の家族制度との関わり」で、計画との関連性はあるか。計画に先進地の家族尊重の理念はどうかされているか。
昌浦 泰巳 市民クラブ	●一時預かり保育と病後児保育／一時預かり保育の拡充と病後児保育を実施する私立保育所への助成の具体策を伺う。／●学力向上策／学習環境支援員を配置する多賀城個別支援事業の具体策は。児童生徒は義務教育の内容を全て理解して卒業すべき。完全履行は可能か。勉強とスポーツをともに頑張る子ども、歴史と音楽に親しむ豊かな心を持った子どもを育てる環境づくりの具体策を伺う。／●教育環境の充実／多賀城中学校の駅伝に対する取り組みに何らかの助成を講じる考えはありか。

## 平成23年度事業と予算について、賛成、反対の討論を行いました。

### 賛成討論

健康・子育て・教育・産業に力点を置いた予算を評価

金野 次男議員(民政ネットクラブ)

二十三年度予算は、子どもの健康や子育て、学校の耐震対策等安全面に配慮した予算です。特に一本柳地区の工業団地化構想は、地方交付税を当てにせず、本市が「魅力ある地方」に生まれ変わる地域の特色を生かそうとする施策です。以上を評価し、賛成します。



### 反対討論

もっと市民生活に配慮した予算編成を考えて

佐藤 恵子議員(日本共産党多賀城市議員)

水道事業会計は二十三年度も黒字が予想されます。もっと水道料金を引き下げ市民生活を守るべきです。また、乳幼児医療費の無料化を段階的でもよいから引き上げること。財政に関しては本市の財政構造を本格的に分析すべきです。



# 第1回定例会

(会期 2月15日～3月10日)

## 第1回定例

議員名・会派	質問事項
阿部 五一 民政ネット クラブ	●歴史の重みと詩都のイメージをもったまちづくり／史跡公園として特に標柱のみを建てている箇所を小公園化（ポケットパーク）にすること。歌枕の整備と歌碑の建立は、整備計画を作成し促進すべき。●人材育成について「組織は人なり」という。人材としての職員の現状認識を伺う。幹部職員的能力向上策は、職場外研修の具体的計画、部課長の統率力の向上策は。
雨森 修一 民政ネット クラブ	●駅前交番の誘致／仙石線多賀城駅は、年間乗降客が2百90万人と仙台、あおば通駅に次いで多く、主要な交通拠点駅である。駅前への幹部交番設置の実現化に向け進捗状況を伺う。●シルバーヘルスプラザの施設について／ヘルスプラザ（旧老人福祉センター）は、高齢者にとって楽園である。中でも風呂は、年間1万8千人の利用者があるが、建て替え時期が迫っている。市長の考えは。
戸津川晴美 日本共産党	●交通安全対策／多賀城小学校の通学路で、仙塩診療所前の横断歩道は、見通しも悪く大変危険。安全対策が必要と思うがいかがか。●水路整備／八幡2丁目のフタのない水路（全長8百90m）は、衛生、安全面共に大きな問題がある。早急な整備が必要と思うがいかがか。●教育扶助／国は生活保護世帯に対し、PTA会費、児童・生徒会費、クラブ、部活動会費も助成しているが、準要保護家庭に対する市の対応を伺う。●学校内トイレ施設の整備／市内小、中学校の洋式トイレの整備計画について伺う。特に多賀城中学校の普通校舎には洋式トイレが1個もない。早急な改善が必要。
柳原 清 日本共産党	●地域循環バスを／西部地区のお年寄りにとって、循環バスは命綱である。昨年の第3回定例会では、「駅の完成を待つ」との市長回答であったが、駅の完成を待つことなく、1日も早い循環バスの実現を望む。●T P P問題／T P P参加は農業・食糧のみならず、地域経済、雇用などにも大きな影響を及ぼす。T P P反対の意思を明確に示すべきではないか。●市道の整備を／西部地区には市道側溝にフタのない区間があり危険である。計画的に側溝整備を進められたい。
佐藤 恵子 日本共産党	●保育行政／政府が検討中の「子ども・子育て新システム」は、利用者と保育所の直接契約など、保育の公的責任を放棄し、市町村が負う保育実施の義務を後退させるもので、親や保育団体から強い反対の声が上がっている。市は「新システム」に反対の立場を明確にし、政府に必要な意見を上げるべき。●乳幼児医療費無料化の促進／小学入学まで実施している本制度の段階的な引き上げを。●平和都市宣言にふさわしい記念事業／念願の平和都市宣言に、多くの市民から歓迎の声が寄せられている。この宣言にふさわしい平和教育の一環として、中学生を、沖縄や広島等に派遣する事業をしてはどうか。

※一般質問に対する当局との議論内容は、「平成23年第1回定例会会議録」をご覧ください。会議録は、図書館本館、山王地区公民館の図書分室、市役所の市民相談窓口で閲覧できます。また、市のホームページでもご覧いただけます。

### 第1回定例会で審議された請願・陳情

●後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願  
(平成二十二年第四回定例会の継続審議)

文教厚生常任委員会で審査の結果、①本制度の廃止と新制度への移行準備が始まっている②七十五歳以上の医療費負担をなくすことは、現役世代の収入が減っているので、世代間含意を得るのは難しいとの理由により不採択となりました。

●経費節減についての一例  
職員は、電気代を考えて残業を。また、行政改革、事業分け実施し、債務減らしを行うこと。



各議員が出した結論は

# 平成23年第1回定例会議決結果一覧

〔会期 2月15日～3月10日〕

## 〔第1回定例会〕

### ◎市長が提出した議案

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 専決処分の承認（平成22年度一般会計補正予算第8号）                        | 19 平成23年度介護保険特別会計予算   |
| 2 専決処分の承認（平成22年度水道事業会計補正予算第4号）                      | 20 平成23年度下水道事業特別会計予算  |
| 3 副市長の選任の同意   | 21 平成23年度水道事業会計予算     |
| 4 市長等の給与に関する条例の一部改正                                 | 22 職員の育児休業に関する条例の一部改正 |
| 5 教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の改正                            | 23 市道路線の認定            |
| 6 特別会計条例の一部改正                                       | 24 市道路線の変更            |
| 7 住民生活に光をそそぐ基金条例（消費者行政、DV、自殺予防対策などをおこなう基金を設置）       |                       |
| 8 非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正（定員を250から200人に減らす） |                       |
| 9 市道路線の認定   |                       |
| 10 平成22年度一般会計補正予算第9号                                |                       |
| 11 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算第3号                          |                       |
| 12 平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算第2号                         |                       |
| 13 平成22年度介護保険特別会計補正予算第3号                            |                       |
| 14 平成22年度下水道事業特別会計補正予算第4号                           |                       |
| 15 平成22年度水道事業会計補正予算第5号                              |                       |
| 16 平成23年度一般会計予算                                     |                       |
| 17 平成23年度国民健康保険特別会計予算                               |                       |
| 18 平成23年度後期高齢者医療特別会計予算                              |                       |

### ◎議員が提出した議案

- 25 市議会委員会条例の一部改正

○賛成 ×反対 欠欠席議員

案件等の番号	日本共産党				多賀城自民			公明党		自由民主			民政		風	21	ビ	市	新	無	議決結果		
	柳原 清	佐藤 恵子	藤原 益米	戸津川晴美	伏谷 修一	森 長一郎	吉田 瑞生	相澤 耀司	松村 敬子	根本 朝栄	米澤まさ子	板橋 恵一	小嶋 廣司	金野 次男	雨森 修一	阿部 五一	深谷 晃祐	中村 善吉	尾口 好昭	昌浦 泰巳		竹谷 英昭	石橋 源一
1	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
2	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
3	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
4	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
5	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
6	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
7	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
8	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
9	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
10	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
13	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
14	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
15	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
16	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
17	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
18	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
19	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
20	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
21	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
25	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※会派名 日本共産党＝日本共産党多賀城市議員団、多賀城自民＝多賀城自民クラブ、公明党、自由民主＝自由民主クラブ、  
 民政＝民政ネットクラブ、風＝新風の会、21＝新政クラブ21、ビ＝ビジョン21、市＝市民クラブ、新＝新世紀クラブ、  
 無＝無会派（議長）

議決結果一覧

各議員が出した結論は

# 平成23年第2回定例会議決結果一覧 〔会期 6月21日～6月28日〕

## 〔第2回定例会〕

### ○市長が提出した議案

- 1 専決処分の承認（平成22年度一般会計補正予算第10号）
- 2 専決処分の承認（平成22年度一般会計補正予算第11号）
- 3 専決処分の承認（平成22年度下水道事業特別会計補正予算第5号）
- 4 専決処分の承認（平成22年度水道事業会計補正予算第6号）
- 5 専決処分の承認（災害弔慰金の支給等に関する条例の改正）
- 6 専決処分の承認（国民健康保険条例の改正）
- 7 専決処分の承認（国民健康保険税条例の改正）
- 8 専決処分の承認（事務の委託に関する協議：災害等廃棄物の処理を宮城県に委託）
- 9 専決処分の承認（平成23年度一般会計補正予算第1号）
- 10 専決処分の承認（平成23年度一般会計補正予算第2号）
- 11 専決処分の承認（平成23年度下水道事業特別会計補正予算第1号）
- 12 人権擁護委員の推薦（菊地春雄さん、濱田勇子さん、川崎泰泉さんの選任に同意）
- 13 市税条例の一部改正
- 14 東日本大震災による災害被災者に対する市税の減免に関する条例
- 15 平成23年度一般会計補正予算第3号
- 16 平成23年度下水道事業特別会計補正予算第2号
- 17 平成23年度水道事業会計補正予算第1号
- 18 平成23年度一般会計補正予算第4号

### ○議員が提出した議案

- 19 中村善吉議員に対する議員辞職勧告決議
- 20 農業委員会委員の推薦（板橋恵一議員、佐藤剛大さん）

○賛成 × 反対 欠 欠席議員

案件等の番号	日本共産党			多賀城自民			公明党			自由民主			民 政			風	21	ビ	市	新	無	審議結果		
	柳原 清	佐藤 恵子	藤原 益栄	戸津川晴美	伏合 修一	森 長一郎	吉田 瑞生	相澤 耀司	松村 敬子	根本 朝栄	米澤まぎ子	板橋 恵一	小嶋 廣司	金野 次男	雨森 修一	阿部 五一	深谷 晃祐	中村 善吉	尾口 好昭	昌浦 泰巳	竹谷 英昭		石橋 源一	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認	
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
7	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	推薦

※会派名 日本共産党=日本共産党多賀城市議団、多賀城自民=多賀城自民クラブ、公明党、自由民主=自由民主クラブ、  
 民政=民政ネットクラブ、風=新風の会、21=新政クラブ21、ビ=ビジョン21、市=市民クラブ、新=新世紀クラブ、  
 無=無会派（議長）

# 中村善吉議員に対する議員辞職勧告

## 決議案を全会一致で可決

市議会議員（二十二人中十九人が決議案の提出者となり、今議会で中村善吉議員に辞職を勧める決議を行いました。市議会が中村議員に辞職を勧告した理由は、これまで数度にわたり、議員として不適切な言動を繰り返し、議会の品位を失墜させたとするものです。

### 中村善吉議員に対する議員辞職勧告決議（全文）

多賀城市議会は、中村善吉議員の辞職を勧告する。

#### 理由

地方議会は住民の代表機関であり、地域の民主主義を充実させる重要な役割を担っている。市民の厳粛な信託に基づき構成された多賀城市議会の権能と責務は重大であり、議員もまた、市民全体の代表者としての高い倫理観と深い見識を持ち、公正で民主的な市政の発展に寄与すべき活動をすることが求められている。

しかるに中村善吉議員は、根拠のない噂話や著しく偏った解釈により、これまでも2度にわたり、新聞やホームページ上で多賀城市議会の品位を失墜させたばかりか、同僚議員を誹謗中傷し、その都度、全議員に対し「お詫び状」を提出し、謝罪してきた。

このような度重なる前代未聞の失態を踏まえ、中村善吉議員は、自らの発言と行動に十分意を配する必要があったにもかかわらず、今般は、複数の市民に対し、子宮頸がんワクチンの接種について、「ワクチンの成分がペットの避妊に使われているので、不妊に繋がるのではないかとの懸念がある」などと、医学的根拠も示さずに持論を吹聴する行為に及んだ。

このような行為は、市民を不安に陥れるばかりか、多賀城市議会全体への不信感を生み、まさに、多賀城市議会の名誉と権威を著しく傷つける議員としてあるまじき行為と言わざるを得ない。しかも、今日に至るまで、自らの行為に対する真摯な反省の念が無いばかりか、いささかも恥じるどころがないという態度を取り続けることは、断じて看過しがたい。

よって多賀城市議会は、中村善吉議員が自ら招いたその責めを負い、市民の前に陳謝し、議員の職を辞し、政治的・道義的責任を明らかにすることを勧告する。

以上、決議する。

平成23年6月21日

多賀城市議会

#### ※辞職勧告決議とは

公職の身分にふさわしくない議員に対して行う議会の意思表示ですが、法的拘束力はありません。従って、議員が勧告に従わず、そのまま議員であります。

#### 陳情

次の陳情の報告が行われました。  
ソニー仙台テクノロジーズセンターの事業縮小計画の見直し、従業員の雇用維持に関する陳情書

〔要旨〕 今回の地震に伴い、ソニーは事業の縮小と研究開発機能を県外に移転しようとしています。このことが実施されると、転勤になる従業員は、子会社も含め三百十人を超えます。また期間社員百五十人が雇い止めになりそうです。

このような事業規模の縮小と大規模な配転・雇い止めは、地域の復興に一層の困難をもたらすと懸念されます。

よって、議会はソニーに対し、研究機能の県外移転や広域配転、非正規雇用者の雇用維持を要請してください。

### 請願・陳情

あなたの声を議会に！

市民の皆さんがご自分の意見や要望を市議会に伝えることは、住みよいまちづくりを進めるうえで、大変重要なことです。

特に、請願は、憲法に定められた市民の権利です。市議会に対しどしどし意見を述べていきましょう。

手続きは、簡単です。詳しくは、お近くの市議会議員、又は議会事務局にお尋ねください。

**1問** ①仮設入居者及び自宅にもどった人は、自立とみなされ、食料支援がストップし光熱水費はもちろん、全ての生活を自力でまかなわなければならず、大きな困難に直面している。本市の対応は、  
②阪神淡路大地震の後、大きな社会問題となった孤独死に対する本市の対応は、  
③車の被害等のため、買い物・通院などに不便を強いられている被災者が多い。復興のための一歩として市内巡回バスの運行を検討されたいが、いかがか。  
答 ①本市は、既に地域の物流やライフラインが復旧し、いわゆる自己調達可能な区域であることを理解願います。②行政のみならず関係各団体等との連携による複眼的なネットワークやコミュニティ活動により、一人ひとりが安心して日常生活を過ごせるよう支えて参ります。③臨時的に避難所、多賀城駅と入浴施設を巡回するバスを一日六便運行しており、なたでも利用できる状況です。



日本共産党 戸津川 晴美

**1 仮設住宅、及び在宅被災者の支援策について**  
**2 被災後の子ども支援について**



仮設住宅

の無念の思いに対し行政としてさしやる手はないのか。③被災公園の一日も早い復旧を。  
答 ①子ども総合センターや精神保健福祉センター等の関係機関と充分な連携を図り、心のケアを推進します。②市としては、あらゆる機会を通じて被災児支援の実施・継続を各方面に呼び掛けたいと思っております。③復旧には国の補助金を充てる計画となっております。災害査定を受け工事を実施します。

問 ならぬことはならぬものです。そのような思いから、今回の一般質問をした。①市長は私的とはいえ、震災で亡くなった方の四十九日も過ぎていず、避難所では約千人の被災者が不自由な生活をしてきた四月十六・十七日に単独で太宰府市に赴き、市長選挙の応援演説をした。被災地の市長が太宰府市に二日も行く正当性が見出せない。市長の真意を問う。②十六・十七日は避難所で被災された方と懇談すべきだったと思うが、市長の考えは。③副市長だけに相談したとのこと。副市長は時期尚早と諫めるべきだったと思うが、二人の間でどんな会話のやりとりがあったのか。④太宰府市に行ったことは軽率だったと考えているか。そうお考えなら、市議会本会議というこの場で、何らかの行動を取られてはいいかか。  
答 ①太宰府市長は、自身の選挙があるにもかかわらず被災見舞いのため来庁くださいました。また、同市からは多大な支援をいただいております。これは、今までに育んできた両市議会の議員の皆様



一般質問

市長の政治姿勢について

市民クラブ 昌 浦 泰 巳



議 場

方の交流の歴史、そして、市長同志の親交があったからこそ、強い絆が深まった、その心意気だと思えます。その心の機微を理解いただければ、自ずと真意もわかってもらえると思えます。②市のホームページで、私がどのくらい避難所を訪れたか、また、現地を歩いて被災状況を見て回ったか、わかっていたか、かと思えます。③内容は申し上げません。④先日、「軽率だったこともあるかなというふうに思います」と述べたとおります。議員の「何らかの行動を取られては」と言うことについては、理解しかねます。

# 一般質問

- 1 災害廃棄物処理・撤去
- 2 下水道仙塩浄化センター
- 3 各学校における防災対策

民政ネットクラブ 金 野 次 男



**1問** 現在、一次仮置き場では公害問題、衛生問題が生じ、火災発生の恐れもあることから、早期に二次仮置き場の設置が求められているが、現在の進捗状況を伺う。一日も早くがれき撤去を進めるため、現場への自走式分別破砕機の導入、または他県へ処理依頼するなど迅速な対応を求めらる。

答 飛散防止用ネットフェンスや、消毒剤の散布等を実施しています。破砕機は導入済みですが、早期に二次仮置き場への搬出が望めないで、市独自で、できることから順次開始しています。なお、県では専門家で組織する「衛生会議」を発足させ、今月中に方針を策定するので、この方針によりさらなる対策を講じます。

**2問** 県は復旧に二年を要すると公表しているが、現在の進捗状況を伺う。梅雨に続き夏期公衆衛生問題の対応について、考えを説明されたい。

答 県からは、完全復旧は平成二十五年年度末になると改めて周知されています。水処理は沈殿と消毒を行ってきましたが、来月からは簡易的な生物による処理の開始、汚泥の濃縮、脱水装置の仮復旧により、段階的に改善されると考えます。なお、対策については、引き続き県に強く要望します。

**3問** 県内随一、小・中学校の児童生徒及び教職員に一人の犠牲者も出さなかった本市であるが、更なる防災教育（避難訓練）の推進及び小・中学校空き教室を利用した分散備蓄に、今後もつと重点を置くべきと考えられているかが。

答 地域防災訓練への参加や、適切な備蓄品配備に努めます。

**4問** 津波被害を受けた農地及び農業資機材の復旧に対する助成措置については、どのように考えているのか伺う。

答 被災した水田は、災害復旧事業で、がれき等の撤去はほぼ終了しており、灌漑用水を直接砂押川に排水できる地区、約二十八ヘクタールは、地区興農実行組合へ委託した除塩作業が終了し、本年度の水稲の作付けを実施しています。その他の被災農地は、国が、地震・津波緊急対策として制度化した「被災農家経営再開支援事業」を活用して、地域農業の再



第二中学校側のガレキの山

# 一般質問

- 1 災害廃棄物仮置き場周辺の環境整備と衛生対策について
- 2 農地及び農業資機材への助成について

自由民主クラブ 小 嶋 廣 司



**1問** ①文教施設（多賀城第二中学校、山王地区公民館付近）及び付近住民に対する環境衛生対策について伺う。②汚泥集積所が高橋地区近隣公園予定地内に設置されているが、山王小学校通学路及び付近住民に対する砂塵対策をどのように考えているのか伺う。

答 ①（金野次男議員、1問回答に同じ）②現在、仮置き場の東側と南側に、仮設のネットフェンスを設置しています。が、今後、西側の市道山王高橋線側にも同様に設置します。

**2問** 津波被害を受けた農地及び農業資機材の復旧に対する助成措置については、どのように考えているのか伺う。

答 生と早期の経営再開を支援します。さらに、被災した農地を含めた土地については、固定資産税の減免を実施します。次に、農業資機材についてですが、緊急対策として、稲・麦・大豆等の生産再開を支援する、「東日本大震災農業生産対策交付金」制度は、農家五戸以上による農業用機械等を共同購入する際に、事業費の五十%以内を支援する仕組みです。なお、農家個人が使用する農業資機材は、仙台市農業協同組合が購入し、貸し出しを検討しています。

開支援事業」を活用して、地域農業の再



第二中学校敷地内から…



自由民主クラブ 米 澤 まき子

## 1 仙塩浄化センターの現状について 2 多賀城市内の放射性物質の影響について

**1問** 発災後、大代地区住民は耐え難い悪臭に現在もなお悩まされている。急務である悪臭対策について、県はどう検討されているのか。

**答** (前段、金野次男議員、2問回答に同じ) 七月からは処理工程が段階的に改善され、薬品もこれまで以上に散布される見通しなので、臭気が抑制されるものと期待をしていますが、本格的な梅雨や盛夏の季節を控えているので、臭気対策のなお一層の強化を県に要望します。

**2問** (1)現在、小・中学校の校庭・プールの放射線量測定を実施しているが、数値を信用しないわけではないが、基準そのものに対して様々な意見があるのも事実である。学校・幼稚園・保育所、通学路での市独自の測定を検討しているか。(2)小さな子どもは、細胞分裂が活発なため放射能の影響を受けやすく、個人で出来る予防には限界がある。保護者の安心を優先し、学校給食で使用している野菜等の産地の公表を検討されたい。



仙塩浄化センター内の被災状況

た、市独自で、学校のプールの水質、及び、校庭の土壌調査も実施しており、それぞれ、市のホームページで結果を公開しています。なお、同大学では多賀城キャンパスと幼稚園で、毎日放射線を測定し、その結果を同大学のホームページで公開しています。(2)安全に留意して提供している産地への風評被害といった微妙な問題もあり、公表する方法や内容を検討しなければならず、現在のところ難しいと考えます。

**1問** (1)下水道浄化復旧を県に求め、悪臭解消に向け本来の微生物処理・能力回復に総力傾注を。(2)油をつくる藻・オーランチオキトリウム(夢のエネルギー)生産調査の実施について県に要請を。

**答** (1)更なる働き掛けを行います。(2)興味深い提案ですので、県に課題提供をしてみます。

**2問** 今年国際森林年。津波対策推進法も勘案し工場地帯・公園の植樹や盛土、臨港中幹線の拡幅・植樹で減災を。

**答** 有識者で構成される市復興検討委員会に議論されているところです。

**3問** 被災者の生活と事業再建を図る二重債務(ローン)は、復興を左右する重要課題です。債務者の救済措置・債務免除の新法制定を国に求められたい。

**答** 被災者の債務の整理が促進され、その結果、被災地の復興が進み、被災者の生活基盤が回復されるよう、強く国に働きかけます。

**4問** (1)西部地区がれき置き場の粉塵飛散や悪臭など生活衛生環境保全を。(2)二次置き場での早期処理について県に要請



仙塩浄化センター

を。

**答** (1)、(2)(金野次男議員、1問回答、小嶋廣司議員、1問回答に同じ)

**5問** 現在の有線防災広報を改め、情報伝達を市内全域を網羅する「防災行政無線」の新設を。

**答** 今後の災害に備え、防災広報装置については、デジタル無線設備の導入を図ります。これにより、災害時の広報活動はもとより、地域でのコミュニティ活動の連絡媒体としても利用できるものと考えます。

多賀城自民クラブ 吉 田 瑞 生

## 1 仙塩浄化センター復旧 2 防災植樹 3 二重債務 4 がれき対策 5 防災無線の新設

### 一般質問



## 一般質問

- 1 被災者支援
- 2 地震被害の拡大防止と支援
- 3 商工業復興と雇用
- 4 民間福祉施設支援

日本共産党 藤原 益 栄

**1問** ①避難所の食料費は、一人一日千十円から千五百円に引き上げられた。有効に活用されているか。②被災者生活再建支援金の支給が遅れているのはなぜか。③災害弔慰金は兄弟姉妹にも支給されるよう、国に制度変更を働きかけられないか。④修理代が何百万になろうとも、被災認定が一部損壊一の世帯には公的支援制度がない。修理費に支援制度の創設を。

**答** ①五月十六日から、朝夕の食事に弁当を配食しています。②長期避難区域の設定を国が早い段階から示していれば遅れなかったと思います。また、都道府県会館側の審査態勢の不備も指摘されています。③大震災直後から国会議員等へ改正の申し入れを行っています。④社会資本整備総合交付金活用の他、既存の補助・融資制度の動向も踏まえて研究しています。

**2問** 伝上山四丁目の新団地で擁壁のブレ、道路・宅地の地割れ、宅盤の沈み込み等の被害が生じている。市として調査をし、被害拡大の防止策を。市道の安全な通行のために鉄棒設置等の措置を。



一部損壊にも行政の支援を

**答** 県の要綱に基づき調査した結果、危険性は少ないと認識しています。鉄棒設置等の措置は、危険性が少ないことを踏まえ、調査結果や今後の余震活動を見ながら、通行止めの解除も検討します。

**3問** ①略。②略。③駅周辺の市有地を飯店舗用地に提供されたい。④略。

**答** ③条件を整えば、中小企業基盤整備機構に設置申請をしたいと考えています。

**4問** 市として福祉作業所等の民間無認可福祉施設への支援をされたい。

**答** 激甚災害に伴う画、県の支援策活用を働きかけたいと思っています。



## 一般質問

- 1 多賀城市の復興に向けて
- 2 強い防災に向けて

新風の会 深谷 晃 祐

**1問** ①工業団地（宮内地区等準工業地域を含む。）の復興に向けての具体案について、現時点ではどのように考えているか。②復興まちづくりを進める上では、まず、市長の目指す方向性を具体化した議論のたたき台を用意した上で、市民の意見を傾聴しつつ、市民協働により復興案をまとめていくことを求めるがいかがか。③復興に向けた市長の意気込みを伺う。

**答** ①、②、③今後も安心して経済活動ができるような施策を盛り込んだ復興計画を表現させる責務があると思っています。現在、市復興検討委員会に、議論のたたき台となる「復興ビジョン」の検討・提言をお願いしているところで、そのたたき台をベースに、八月には議員をはじめ、市民の皆様方に広く提案し、市民協働の視点で復興計画づくりを進めます。また、是非とも、今回の未曾有の災害を生き抜き、残された者の使命として、この津波から得た教訓、体験、防災の知恵を後世に伝えるとともに、世界に発信する施設として、国立の「津波・震災ミュージアム」と「防災教育研修施設」を誘致し、既存の東北歴史博物館と併せて国立化することを盛り込みたいと考えています。

**2問** 今後の防災対策の見直しについては早急な対応が求められるが、具体的にどのように検討を進めていくのか伺う。

**答** 「多賀城市地域防災計画」の見直し作業に着手し、避難所の見直しや、津波避難ビルの選定、情報伝達手段の見直しなど、まず、できるものから早急に対策を図りたいと考えています。



破壊された産業道路





**1問** 砂押川堤防の三ヶ所が決壊し応急修復されているが、直ちに完全復旧を図るよう県に求められないか。

答 一日も早く市民の方々が安心して生活できますよう、今後も引き続き、強く働き掛けを行います。

**2問** ①市内中小零細企業（商店）が事業継続する場合、被災程度に応じ支援策を講ずるべき。②仮設住宅に住む方々の日常の食料品や生活必需品の買い廻り支援として、移動販売車配置を含む対策を。

答 ①中小企業等グループ施設等復旧整備補助金事業や法人市民税の均等割額の減免、低利の融資制度などを利用した支援を行います。②大型小売店による宅配方式やふれあい便、また送迎バスの運行もあるため、市もサービス区域の拡大や送迎バスの運行等について働きかけます。

**3問** 桜木保育所も津波で大きく被災した。幸い職員の適切な避難誘導で園児に一人も事故がなかった。①全市的なパラスからみて、桜木地区の保育者は必要と思う。災害に備えた保育所施設の再建をされたい。②無認可保育所も三ヶ所被災した。ここには具体的な支援策が全くない。直接的な支援策を図るべき。



壊れた砂押川の堤防

答 ①原形復旧で現在場所への再建は、児童の安全確保から困難です。土地利用動向や保育需要、復興計画等と整合を図りながら、検討します。②現状で市独自の財政的な支援は極めて困難です。

**4問** 県仙塩流域センター損壊に伴い、貞山堀の臭いの元、ヘドロの定期的浚渫を県に要請すべき。

答 （金野次男議員、2問回答、米澤まさき議員、1問回答に同じ）

日本共産党 佐藤 恵子

- 1 砂押川堤防決壊箇所の完全復旧について
- 2 市内被災事業所への支援策について
- 3 保育所の再建について



**1問** 高橋跨線橋は震災以来通行止めとなっており、第二中学校への通学、お年寄りの通院に大変不便をきたしている。復旧の見通しはどうか。

答 現在、JＲ東日本と復旧方法・工事工程について協議中ですが、歩行者を通行させながら工事を施工できるか、その際に工期短縮が可能か、工事費がどのようになるかなどについて検討中であり、現在のところまだ結論が出ていません。

**2問** 第二中学校東側のがれき一次仮置き場について、保護者、周辺住民から健康被害への懸念が出されている。がれきの搬出の見通し、当局の対策を問う。

答 （金野次男議員、1問回答に同じ）

**3問** 福島第一原発からの放射性物質の影響が心配されている。市内全保育所、幼稚園、小中学校、高校の放射線検査を実施されたい。また、女川原発で事故が起きた場合の避難計画、除染、薬剤の備蓄などは考えているか。

答 （前段、米澤まさき議員、2問①回答に同じ）

女川原子力発電所で災害が発生した場合の避難計画、除染、薬剤の備蓄等は、県地域防災計画「原子力災害対策編」で、防災対策を重点的に充実すべき地域とされている女川町及び石巻市に対し、県が物資を供給又は貸与し、放射線汚染物の除去をすることとなっています。しかし、今回の震災における原子力発電所の事故を踏まえ、この「宮城県地域防災計画」を新たに見直すものと思われるので、本市においても、女川町や石巻市と同様に、放射能汚染物の除去、あるいは薬剤の供給等を行うよう、県と調整を図ります。

日本共産党 柳原 清

- 1 高橋跨線橋の復旧について
- 2 がれきの一次仮置場について
- 3 保育・教育施設の放射線検査について



第二中学校東側のガレキ



## 一般質問

### 1 震災関連死について 2 復興に向けて

多賀城自民クラブ 森 長二郎

**1問** ①マスクミ等で「震災関連死」(震災後、避難生活のストレスや持病の悪化などで体調を崩して亡くなるケース。津波や建物の倒壊などによる「直接死」と区分される。市町村が設置した医師や弁護士等による専門家の委員会が震災との因果関係を判断し、認定されると災害弔慰金が支払われる。)についての報道がなされているが、市ではどう捉えているか。②厚生労働省から認定基準が示されたが、市の対応はいかに。③市民への周知方法をいかに。

**答** ①平成二十三年四月三十日付けで国から各都道府県に事務連絡として2004年の新潟県中越地震の震災関連死の認定基準例が参考として示されたものに過ぎません。しかし、これが様々なケースを判断する上での参考となることから、今後、本市でも、医師等を構成員とする災害弔慰金支給審査会を組織し、この基準例を参考に市としての認定基準を定め、それに照らし災害と死因との関連度合いがどうかを究極め、災害関連死に該当するかどうかを判断します。

③「死」という人間の尊厳に関わる問題であることから、慎重に対処したいと考えています。

**2問** ①復興ビジョン、復興計画の速やかな策定及び実行を願うがいかか。②集中経済施策が必要と考えるが、市の対応はいかに。

**答** ①市復興検討委員会の提言を受けて、八月頃には復興ビジョンを、十月頃には復興計画を策定します。②中長期的な経済再生施策に関しても検討を進め、復興計画に盛り込んで実施します。



復興市



## 一般質問

### 1 被災者支援について 2 児童・生徒及び教職員の心のケアについて

民政ネットクラブ 雨 森 修一

**1問** この度の東日本大震災により、大多数の市民が被害を受けている。被災者生活支援制度による住宅被害等の再建支援及び三段階の区分による義援金の支給がなされているが、区分外の被害に対しては何の支援もなく、市民の不満が募っている。一部損等の住宅、店舗等に対し、市独自で支援を行うべきと考えるがいかか。

**答** (住宅関係、藤原益栄議員、1問④回答に同じ)

店舗や事業所などの修理は、各種融資制度の利用にとどまってきましたが、「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」が創設されたので対応します。

**2問** 本市では、市内小・中学校の児童生徒の死者、行方不明者はないが、心の傷は大きく、ケアが求められている。また、教育者側に対しても同様と考えるがいかか。

**答** (前段、戸津川晴美議員、2問①回答に同じ) また、各学校で文部科学省作成によるアンケート調査を実施し、児童生徒の心理状況の把握に努め、担任や養

護教諭、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、児童生徒やその保護者のケアに努めています。議員御指摘のとおり、教職員の中には、不幸にも家族を亡くされた職員や肉親が未だ行方不明の職員もいます。職員自身も、震災現場を目の当たりにしたことで、様々な心の葛藤があることから、各学校では四月以降、校長が全教職員と面談を行い、教職員の心身の健康に十分留意して把握に努め、教育活動に取り組みしていきます。



あまもりするかも…

# 議会日誌

平成22年12月20日～平成23年6月28日

- 12月** ●議会だより編集委員会(2回開催)
- 1月** ●議会だより編集委員会(3回開催)
  - 19日 ●議会運営委員会
  - 21日 ●文教厚生常任委員会
  - 24日 ●三重県名張市議会視察来庁
  - 27日 ●全員協議会
- 2月** ●議会だより編集委員会(1回開催)
  - 2日 ●説明会(固定資産税のかしある課税について外2件)
  - 10日 ●議会運営委員会
  - 15日 ●第1回市議会定例会(～3/10まで)
  - 18日 ●議会運営委員会
- 3月** ●議会だより編集委員会(2回開催)
  - 4日 ●議会運営委員会
  - 22日 ●議会運営委員会
  - 31日 ●議会運営委員会
- 4月** ●議会だより編集委員会(開催なし)
  - 4日 ●全議員による意見交換会
  - 会派代表者会
  - 13日 ●東日本大震災対策委員会
  - 会派代表者会
  - 19日 ●宮城県議会視察来庁
  - 東日本大震災対策委員会
  - 議会運営委員会
  - 26日 ●東日本大震災対策委員会
  - 議会運営委員会
  - 28日 ●議会運営委員会
  - 30日 ●要望活動
- 5月** ●議会だより編集委員会(開催なし)
  - 9日 ●議会運営委員会
  - 10日 ●東日本大震災対策委員会
  - 会派代表者会
  - 13日 ●要望活動
  - 市長へ要望書提出
  - 17日 ●東日本大震災対策委員会
  - 議会運営委員会
  - 20日 ●議会運営委員会
  - 23日 ●要望活動
  - 24日 ●東日本大震災対策委員会
  - 議会運営委員会
- 6月** ●議会だより編集委員会(1回開催)
  - 7日 ●要望活動
  - 14日 ●会派代表者会
  - 16日 ●議会運営委員会
  - 21日 ●第2回市議会定例会(～6/28まで)
  - 議会運営委員会
  - 23日 ●議会運営委員会
  - 27日 ●要望活動
  - 議会運営委員会

## 私もひとつ

### 傍聴席から

第一回・第二回定例会の傍聴者は百十九名でした。議会の傍聴を終えた皆さんから寄せられた感想やご意見の中から、皆さんにいくつかご紹介します。

議会や市政を知る方法のひとつに傍聴があります。議会だよりでは伝えきれない議会の生の姿を見聞きできます。

**初** めての傍聴で、いろいろな経費を聞いていたうちに、市政のやりくりの大変さが少し分かった気がします。

(中央在住 佐野 よし子さん)

**質** 問項目は自由で結構、もっと市民生活と直結した項目を取り上げ、質問、議論を期待する。(丸山在住 佐々木三郎さん)

**初** めて議会を傍聴しました。議員さんたちの市民に対しての熱意ある意見が出されました。多賀城市民の代表として頑張ってください。(仙台市在住 佐々木みち子さん)

**地** 区の避難(一時)所、地震計の設置場所に疑問を感じていました。また、企業の復旧が一日も早くできることが、多賀城全体が良くなると思います。(高橋在住 匿名)

**市** 議会としての役目は、市政のチェックと市民の意見の反映の場であると思うが多賀城市議会はそのどちらも不十分であると感じます。(市外 岩島まり子さん)

### 表彰

六月十五日に開催された第八十七回全国市議会議長会定期総会において、轟浦泰巳議員・阿部五一議員・石橋源一議長が表彰を受けました。

この表彰は、議会議員として二十年以上にわたり、議員活動を通じて市政の振興に寄与された功績に対し贈られるものです。

### 感謝状

六月十五日に開催された第八十七回全国市議会議長会定期総会において、石橋源一議長が感謝状を受けました。

この感謝状は、全国市議会議長会評議員として会務運営の目的遂行に寄与された功績に対し贈られるものです。

## 編集後記

被災されました市民の皆様からお見舞い申し上げ、また、お亡くなりになられた皆様に謹んで哀悼の意を表します。

多賀城市議会は、災害からの復旧・復興に向け全力を尽くし、一日も早く市民生活の安定が取り戻されるよう、取り組んでいます。

編集委員会も、被災直後から市議会だよりの発行について協議の場を設け復旧・復興を優先するために第七十五号の発行を見合わせ、今般七十六号との合併号として発行しました。

この紙面をお借りし、さまざまな形のご支援を賜りました全ての皆様に深く感謝し、お礼を申し上げます。

また、市議会議員、編集委員の今期の任期は、九月十日となっており、現在の委員での編集は今回が最後となります。市民の皆様のご拝読に感謝申し上げます。

### 議会だより編集委員会

- 委員長 板橋 恵一
- 副委員長 深谷 晃祐
- 委員 柳原 清
- 米澤まき子
- 森 長一郎
- 雨森 修一
- 松村 敬子

次の定例会は九月です



# 追跡レポート

東日本大震災でご尽力いただいた皆様、ありがとうございます。

今回は、そうした方々の中から消防団の活動を報告します。

▶ 3月11日の発災直後、市内各所での人命救助／妊婦さんが助けを呼んでいる、寝たきりの方が動けない…多くの尊い命を救いたい、必死で進んだ／水が引き始めて現れてきた市内の惨状…車が、ガレキが積み重なり行く手を阻む／必死の救助活動の中でも、間に合わなかった悔しさも／被災した工場地帯や大型商業施設周辺は人が無く、不審者が目立つ…市の要請を受け巡回パトロール▶翌3月12日。昼を過ぎても産業道路から沿岸部までは胸元まで水が／周辺地域から高い建物へ多くの住民が避難し助けを呼んでいた／次々と見つかるご遺体の収容を続ける／消防団員として長年活動してきたが、まさかこんなに多くのご遺体を発見することになるとは…／自宅が被災した消防団員も、使命感のもと活動を続行／でも…消防団詰め所へ出勤途中津波に巻き込まれ亡くなった団員の車を発見し、ご遺体を収容したときは、涙をこらえることができなかった／大代で火災発生、砂押川からポンプ車4台を中継して消火活動。日ごろの訓練が役立ち一安心。



このような活動がほぼ1カ月続けられ、多くの尊い命が救われたのです。

消防団員の皆さん、

本当にありがとう

レポーター 深谷晃祐記者

